

## 令和6年度第2回三重県議会「議員勉強会」開催要領

### ■ 目的

「令和6年能登半島地震」では、揺れや津波、火災等による被害や、交通網の断絶や孤立集落の発生など様々な課題が生じました。三重県も半島地域を有するという地理的特徴など、共通する点が多く、今後、南海トラフ地震対策の強化に向けては、これらの課題を踏まえた対策を行っていくことが求められます。

このような中、半島地域における防災対策に係る見識を深め、今後の計画や施策の見直し等に向けた議論に生かすために、防災対策を専門とする有識者より学び、今後の県議会における議論の参考とします。

### ■ 日時・場所

令和7年3月21日（金）13時30分～15時00分

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

### ■ 講師

廣井 悠 氏（東京大学先端科学技術研究センター 教授）

2007年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 特任助教

2012年 名古屋大学減災連携研究センター 准教授

2016年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授

2021年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授

2023年 東京大学先端科学技術研究センター 教授

### ■ 演題

「半島地域における防災・減災等」



# 半島地域における 防災・減災等

半島地域を有するという、三重県と同じ地理的特徴を有する地域で起こった「令和6年能登半島地震」では、揺れや津波、火災等による被害や、交通網の断絶や孤立集落の発生など様々な課題が生じました。

南海トラフ地震発生の可能性が高まるなか、これらの課題を踏まえて、対策の充実・強化を早急に図る必要があります。

今回の勉強会では、今後の県議会における議論をさらに深めるために必要な視点等についてお話を伺います。

ひろい ゆう  
講師 廣井 悠 氏

東京大学先端科学技術研究センター  
教授



2007年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 特任助授  
2012年 名古屋大学減災連携研究センター 准教授  
2016年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授  
2021年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授  
2023年 東京大学先端科学技術研究センター 教授

1978年10月東京生まれ。  
博士(工学)、専門は防災対策、都市計画。  
受賞に防災功労者・内閣総理大臣表彰、文部科学大臣表彰・科学技術賞、文部科学大臣表彰・若手科学者賞等。  
自然災害の被災地調査・研究を行っており、能登半島地震においては、1月6日に現地調査に入り地震火災等に係る報告等を実施。地震火災対策や帰宅困難者等への対策、被害想定等の専門家として、国や自治体において、多数の公職に携わる。  
総務省消防庁・国土交通省  
「輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」委員  
内閣府「首都直下地震帰宅困難者等対策検討委員会」座長  
東京都「帰宅困難者対策DX検討会」委員  
三重県「南海トラフ地震被害想定・対策計画策定ワーキンググループ」委員 など

2025/3/21 (金) 13:30~15:00

場所：三重県議会議事堂3階 全員協議会室

問合せ先：三重県議会事務局企画法務課 小塩、佐藤

TEL 059-224-2879 FAX 059-229-1931 mail : gikaik@pref.mie.lg.jp